

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【公開番号】特開 2000-10026 (P2000-10026A)  
【公開日】平成 12 年 1 月 14 日 (2000.1.14)  
【出願番号】特願 平 10-213411  
【国際特許分類】

**G 0 2 B 25/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 B 25/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 7 日 (2005.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 レンズをピンホールの中か、その近傍に設けて光をそのレンズに入れてレンズの後に試料を置き、試料を透かしてレンズを覗く事に依って試料の拡大像を得る方法。

【請求項 2】 レンズの片側に試料受け部の透明体がある様にした、請求項 1 記載の方法が使用出来る簡易顕微鏡に於いて、レンズと透明体の間に精液を配置すれば正視顕微鏡の方法で精子が観察出来る簡易顕微鏡。

【請求項 3】 シートにレンズを取り付け、これを顕微鏡本体とし、もう一つの透明部を有するシートを試料受けとして、この二枚のシートを指で挟んで、すり合わせる事で観察ポイントを移動させる簡易顕微鏡の観察方法。

【請求項 4】 レンズと試料の距離を一定にし、かつ、X Y 方向の移動が自由に出来、かつ着脱を容易にするためレンズ保持部材と試料保持部材とが磁力でカップリングする様にした簡易顕微鏡。

【請求項 5】 レンズのついたシートと透明部を有するシートとの、どちらか一枚に相手のシートが入る切れ目を設けて二枚のシートの保持と X Y 方向の移動とが自由に出来る様にした簡易顕微鏡。

【請求項 6】 レンズのついたシートと透明部を有するシートと、その他のシートをハトメ玉様部材で止めて互いに支点中心に回転出来る様にした簡易顕微鏡。

【請求項 7】 直径が 0.25 mm 以上 1.4 mm 以下の球形レンズからなる請求項 2 記載の簡易顕微鏡。